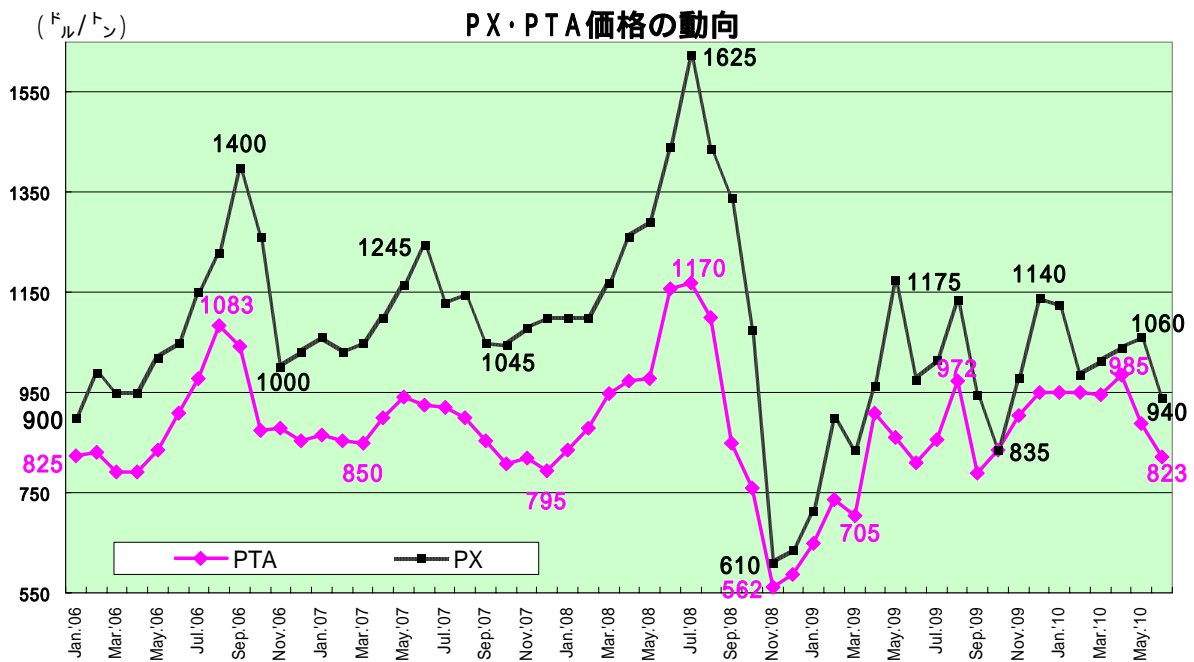


視 点

高純度テレフタル酸の動向

市場動向

下図は近年のパラキシレン（PX）および高純度テレフタル酸（PTA）のアジア市況の推移である。2007年から2008年の原油価格の高騰期にはポリエステル粗原料のPX、直接原料のPTAともに価格は高騰したが、その後原油価格の崩落と世界的な景気の減速に伴い価格はともに急落した。2009年はポリエステルチェーンの在庫調整が進んだことや、中国の景気刺激策に伴うポリエステル製品の需要回復でポリエステル原料市況は回復基調に転じた。供給においては、ポリエステルの最大生産地である中国で、大型プラントの新規稼動が相次ぎ、PX・PTAともに生産能力は約3割増となったが、需給は比較的タイトな状況が続き、価格は年央以降は安定的に推移した。



2010年6月のアジアのPX価格は、原油価格の下落、供給余力、不透明なダウンストリームの状況などを反映して、前月の1,060ドル/トンから940ドル/トンに下落した。クウェートとオマーンにおけるPX新設プラントの稼動に伴い、中東品のアジア市場への流入と市況への影響が懸念されているが、業界筋では向こう2ヶ月ほどのPX市況は安定的な推移が予想されている。

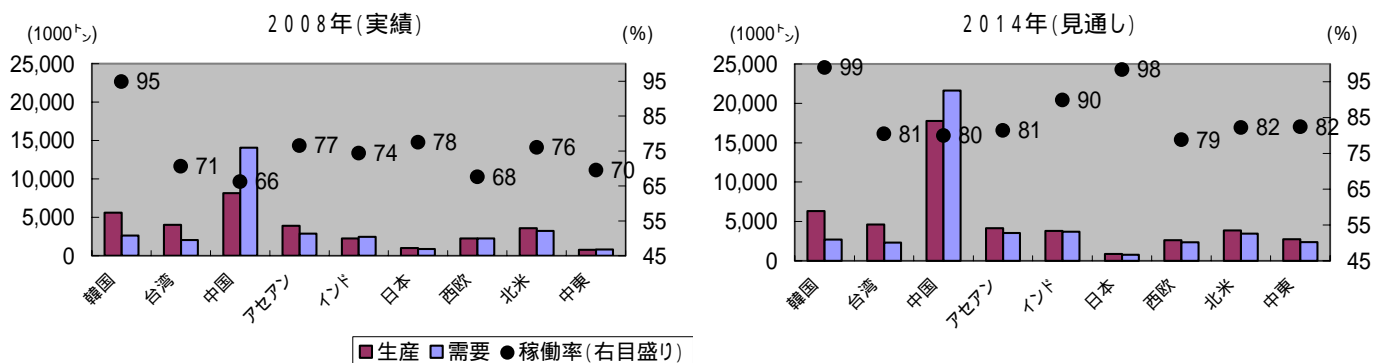
中国のPTA価格は5月が910ドル/トン水準、6月は平均823ドル/トン水準で推移した。

需給実績・見通し

経済産業省は先に、エチレン系・プロピレン系誘導品及び芳香族製品等の石油化学製品の世界の需給（需要、生産能力、生産量）動向、見通しをとりまとめた。以下は、そのうち高純度テレフタル酸の需給実績・見通しである。

近年増加を続けたPTA需要は、2008年は世界的な景気後退の影響で減少し、しかし、2009年にはすでに回復基調に戻り、今後はアジアを中心に増勢を続ける見通し。アジアでは中国、インド、アセアンの増勢に対し、日本は減少の見通し。稼働率はポリエステルが増産が見込まれる中国、インドでは顕著な上昇傾向となる。非繊維向け需要の割合が比較的大きい北米や西欧では需要は底堅く推移する見通し。また、ダウンストリームの充実を指向する中東は、生産、需要とも拡大の見通し。

高純度テレフタル酸の需給・稼働率



(原出所) 経済産業省 (化繊協会で加工)

2008年実績

【生産能力】

- ・世界計で4,585万ト
- ・地域別にみるとアジアが合計3,425万トで世界の約7割を占め、なかでも中国が1,232万トと圧倒的な規模。韓国、台湾、アセアンは500~600万ト規模、ついでインドが303万ト、日本が131万ト。その他地域は北米474万ト、西欧298万ト、中東105万トなど

【生産量・稼働率】

- ・生産量は世界計で3,423万ト、平均稼働率は75%
- ・稼働率を地域別にみると最大の生産能力を有する中国は66%と低水準、韓国は88%と高水準で、日本、アセアンは平均を上回る水準。その他の国・地域も概ね70%を超える水準

【需要】

- ・世界計で3,376万ト（前年比1.3%減）
- ・中国が1,403万トで全体の約4割を占める。中国は国内生産が816万ト規模で、需要に対し約600万トが不足しており、韓国や台湾からの輸出市場となっている。欧米は域内自

給体制、中東は 50 万トンほどの輸出余力がある。

2014年見通し

【生産能力】

- ・世界計で 6,049 万トン (2008 年対比 32%増)
- ・2008 年時点で大幅な国内供給不足であった中国では、生産能力は 81%増加し 2,223 万トンに。その他も概ね増加傾向だが、日本は 91 万トンで 31%減となる

【生産量】

- ・世界計で 5,041 万トン (2008 年対比 47%増)
- ・アジアでは大幅に生産能力が拡大する中国が 118%増の 1,778 万トン、インドも 69%増の 380 万トンでアセアンを追従する生産規模となる。また、中国の増産はあるものの韓国 (632 万トン、12%増)、台湾 (460 万トン、14%増) はともに増加。日本は内需の減少から 12%減の 90 万トンに。欧米は繊維以外のポリエステル需要に支えられ需要は安定し、北米は 386 万トンで 7%増、西欧は 261 万トンで 15%増に

【稼働率】

- ・世界平均で 83% (2008 年実績から 8 ポイント上昇)
- ・生産能力が急拡大する中国は、稼働率も 80%水準まで向上。内需の伸びが期待されるインドは 90%水準となる。日本は国内供給の縮小均衡が進み、フル稼働の状況となる。その他の国・地域も稼働率は 2008 年水準を上回る

【需 要】

- ・世界計で 4,620 万トン (2008 年対比 37%増)
- ・需要増の中心はアジア (39%増) で、なかでも中国 (2,162 万トン、54%増)、インド (370 万トン、52%増)、アセアン (354 万トン、22%増) が顕著な増加傾向となる。日本は 9%減となる。中東は 2014 年までに需要規模が 3 倍増となる

(担当：業務調査グループ 後藤)